

「ピザゲイト」 スキャンダル：陰謀団崩壊の突破口

「ピザゲイト (Pizzagate)」スキャンダル——インターネットが始まって以来、これほど世界中の人々を驚かせ、動揺させた事件はないであろう。歴史上、前例のない大スキャンダルだと多くの人が言っているのは誇張でなく、またそう捉えなければならない。しかしこれは突然起こったことではない。成熟しきった毒麦としての悪が、この最も嫌悪し戦慄すべき犯罪スキャンダルとして、いつか隠しきれなくなることは予想されていた。

事情を知っている多くの人々は、これは氷山の一角だと言い、ジグソーパズルの絵を完成させる決定的ピースだとも言っている。サイト **State of the Nation** は、これは「クリントン夫妻、民主党、米連邦政府、陰謀団 (the Cabal) を確実に倒壊させる世紀のスキャンダル」であり、「米国民が待っていたもの」だと言っている。このサイトは、ネットサイトの経営者やブロガーで、同じ問題意識をもつ者たちに、共闘を呼びかけている。しかしこういう共闘は自然に出来上がるもので、我々の記事をよく引用してくださるシャンティ・フーラ (Shanti Phula) さんなど、いくつかの有力サイトが、知らぬ間につながっている。

いくつかの注意すべき点がある。まず、これは対岸の火事ではないということ。地球文明そのものの大転換が今起こりつつある (米大統領選はそれに大きくかかわった)。それに、「同じ人間がそんなことをするはずがない」という、よくある思い込みは間違っている。「彼ら」は同じ人間ではない。1947年、米ニューメキシコ州ロズウェルで起こった「ロズウェル事件」(UFO 墜落事件) で生き残った ET が、「我々はあなた方の地球が、最初から悪い者たちに支配されていることを、知らせにやってきた」と言ったといわれる。また、ある宗教指導者は、我々の住んでいる世界は「サタン圏」だと言い、今いっさいの隠し事が暴かれる時代がきているとも言った。

私の希望を述べるなら、英語のできる方々は、今起こっていることがどんなことかを、もっと日本人に知らせるために、英語のユーチューブで言われている重要と思われる内容を、もっと多く翻訳・紹介していただきたい。何年も前になるが、私は「**Poisoned World (毒づけの世界)**」という長いビデオ・シリーズを発見して驚き、これを、私より遥かに英語の聞き取り能力をもつ、ある友人に知らせ、何とかこれを、日本人に知らせる方法はないだろうかと持ち掛けたことがある。しかし彼は、「これは我々にはどうすることもできないことですよ」と言った。確かにその通りだが、それは最初から全面的に敗北を認めることではないか。我々はまず敵を知らなければ戦えない。知ることが武器となる。ジグソーパズルのピースがはまっていくにつれて、この巨悪の全体像が見えてくる。「市民ジャーナリストたちの協力

による戦線」と **State of the Nation** が言っているのもそれである。

今、米政府と主流メディアは、あわてて“フェイク・ニュース”に騙されるなというプロパガンダを行っている。我々は、こんなものに翻弄されることはない。巨悪の構造は最初から見えていて、あとは証拠をつかむだけだからである。**Pizzagate** の写真入りユーチューブをいくつか見た人を対象にして言うが、プロパガンダ側は、例えば、あの3, 4歳の女兒が両手をテーブル上に粘着テープで固定されて、笑っている写真は、ニセモノだと言う。無数の縦横の状況証拠から取り出してこれだけを見れば、それは十分、ニセモノでありうるだろう。そんなことを言えば、あの“芸術”だという、沢山の、目を覆いたくなるペドフィリアの絵も、ニセモノでありうる。しかしこんなものを、正常な誰が描いて、ヒラリー側を陥れようとするだろうか？ そもそもこんな事件をでっちあげる動機がないのである。彼女が勝利していれば、その嫌疑もありうるが、彼女は敗退していて、追い打ちをかける必要がない。メディアの誰かが、ペドフィリアは **crime** (犯罪) でなく **disorder** (訳せば、病気) だと言ったらしい。言語道断だが、そこまで言わねばならないほど、彼らは追い詰められているということである。

幸いなことに、最近、ほとんどの英語のユーチューブに英語字幕がつき、何とか理解できるようになった。その中に、だいぶ前から(私が **Svali** など、イルミナティ離脱者の証言を翻訳紹介していたころから) ネット上に存在していたが、今、**15 Years Old Girl Survives Pizzagate Satanic Rituals Abuse** (15歳の少女が、ピザゲイト式のサタン儀式の虐待に生き残る) などという題で出てくる、(当時) 15歳の、生きて脱出した少女をインタビューしたビデオがある。以下、ショッキングな内容に簡単に触れるが、できれば実物を見ていただきたい。この15歳の少女がウソをついていると言う人はいないだろ。

恐ろしいが事実は知っておかねばならない。この少女テリーザ (**Theresa**) は2歳のときに誘拐され、幼児時代から過酷な虐待を受けたらしい。箱の中に蛇や恐ろしい昆虫と一緒に閉じ込められたという。インタビュアーは、これは妄想でないかといろいろ調べ、そうではないと結論する。(これは、奪ってきた子供でなく、**Svali**=偽名というイルミナティの名家の令嬢の場合も、幼児のときに同じような(檻に閉じ込めて電気ショックを与えるといった) 虐待を受けているから、これが彼らの世界では普通だとわかる。) 何のために？ それは彼らの神ルシファーを喜ばせるためだと教えられた。性的虐待は、一度に10~20人から受けた。11歳のときに初めて妊娠し、何回も墮胎をしたが、自分の胎児を食べさせられたことがある。(これも、まさかと思うが、やはりイルミナティの名家の将来を囑望された娘 **Arizona Wilder** も、同じことを強要されたというから、ウソではないであろう。) さらに、大勢の子供たちの目の前で、同じ子供が生贄にされるのを見た。(これも、12歳のとき、ヴァチカン宮殿の地下で、子供が生贄にされる儀式に出席した **Svali** の体験と同じである。

<http://www.dcsociety.org/2012/info2012/160122.pdf>)

ワシントン DC にある、ピザ屋兼ピンポン遊技場の入り組んだ地下の迷路（これは元 FBI 長官の講演で言及された、誘拐された子供の証言と一致する）の先で、不幸な子供たちに対して行われている（いた）ことと、テリーザに対して行われたこと（場所はイギリス）と、スヴァーリやアリゾナに対して行われたことは、全く同じではないかもしれないが、その根底にサタン崇拝があることは確かである。そしてそのサタン崇拝につながるペドフィリア犯罪に、アメリカやイギリスなどの、多くの有力な国家指導者やハリウッドなどが、深く引き込まれているものと考えられる。読者はどうぞ、各自、自分自身で、可能な限り調べてみられることをお勧めする。決して猟奇趣味でなく、我々を支配するこの悪の勢力を倒すために！